

## 議員提出議案として意見書4件を可決

意見書は、市の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。議員が発議して本会議にはかり、審議の結果、可決された場合は、議長名で関係機関に提出します。

可決・提出した各意見書の概要は以下のとおりです。

### 沖縄戦戦没者の遺骨混入土砂を埋立てに使用しないことを求める意見書

沖縄戦では一般住民を巻き込んだ悲惨な地上戦が行われ、石川県出身者も含む多くの尊い命が失われた。

糸満市摩文仁を中心に広がる南部地域では、沖縄戦で犠牲を強いられた住民や命を落とした兵士の遺骨が残されており、戦後76年が経過した今でも戦没者の遺骨収集が行われている。

先の大戦で犠牲になった人々の遺骨が入った土砂を埋立てに使用することは、遺族の心を傷つけるもので人道上許されないことから、下記の事項に取り組むよう、国に対し強く要望する。

- 1 悲惨な沖縄戦の戦没者の遺骨等が混入した土砂を埋立てに使用しないこと。
- 2 戦没者の遺骨収集の推進に関する法律により、日本政府が主体となって戦没者の遺骨収集を実施すること。

### 子どもたちの学びの更なる充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大やポストコロナ期において、GIGAスクール構想によるデジタル化への対応や少人数学級の推進は、子どもたちの学びを確実に保障し、学びの機会や質を多様で充実していくために、欠くことはできない。

少人数学級の実現によって、教職員の更なる質の向上やきめ細やかな指導も期待でき、学級編制の標準引下げ早期実現と、新たな教職員定数改善計画の策定・実施が求められている。

また、学校が社会の変化に適切に対応しながら、教職員の働き方改革を進めるには、学校の実情に応じた様々な専門員やスタッフ職を配置・増員し、「チーム学校」による協働的・組織的な取組の推進が求められており、そのためには、更なる教育予算の拡充が必要である。

よって、教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充で、子どもたちの学びの機会や質の更なる充実を図るよう、国に対し強く要望する。

### 旧姓の通称使用の更なる拡充を図り、改姓による不便や不利益の早急な解消を求める意見書

近年、夫婦が別の姓を名乗ることもできる選択的夫婦別姓制度を盛り込んだ民法改正の議論がある。夫婦別姓は、子どもが生まれれば必然的に親子の間で姓が異なる親子別姓をもたらし、ひいては兄弟姉妹間の別姓にもつながるが、これによって社会の基盤である家族の在り方に悪影響を及ぼすことがあってはならない。

よって、第5次男女共同参画基本計画で定められたように、家族の一体感、子どもへの影響を十分に考慮し、夫婦・親子間同姓制度を維持しつつ、旧姓の通称使用の更なる拡充を図り、婚姻によって改姓した人の社会生活上の不便さや不利益を早急に解消するため、環境整備を進めるよう、国に対し強く要望する。

### 更なる国土強靱化に向けて予算の拡充を求める意見書

本年8月、西日本を中心とする各地域において、記録的な豪雨により多くの死傷者が確認されるなど、深刻な事態となった。

政治の最も重要な役割は、国民の生命と財産を守ることであり、その責任を全うするためには、激甚化・頻発化する風水害の防止対策を早期に進めることが何よりも重要である。また、自治体が風水害防止対策を速やかに進める上においては、国による予算の裏付けが必要かつ最も重要である。

よって、下記の措置を講じられるよう、国に対し強く要望する。

- 1 今後の国の予算編成において、風水害防止対策に係る予算を積極的に増額すること。
- 2 今後の国土強靱化基本計画及び国土強靱化年次計画において、特に風水害防止対策に係る項目を重点的に取り上げること。